

2009. 7-9

ART NEWS TOKYO



野田秀樹 × 東京芸術劇場

アート・ニュース・トーキョー
東京 + アート + カルチャー

(財) 東京都歴史文化財団はつぎの施設を管理運営しています。

東京都庭園美術館
TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM

東京都江戸東京博物館
TOKYO METROPOLITAN EDO-TOKYO MUSEUM

江戸東京たてももの園
EDO-TOKYO OPEN AIR ARCHITECTURAL MUSEUM

東京都写真美術館
TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY

東京都現代美術館
MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO

東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

東京文化会館
TOKYO BUNKA KAIKAN

東京芸術劇場
TOKYO METROPOLITAN ART SPACE

トーキョーワンダーサイト
TOKYO WONDER SITE

財団法人 東京都歴史文化財団
TOKYO METROPOLITAN
FOUNDATION FOR
HISTORY AND CULTURE



「トーキョー・アート・ナビゲーション」
携帯サイトへGO!
(財) 東京都歴史文化財団各施設の情報を
チェックできます → tokyoartnavi.jp

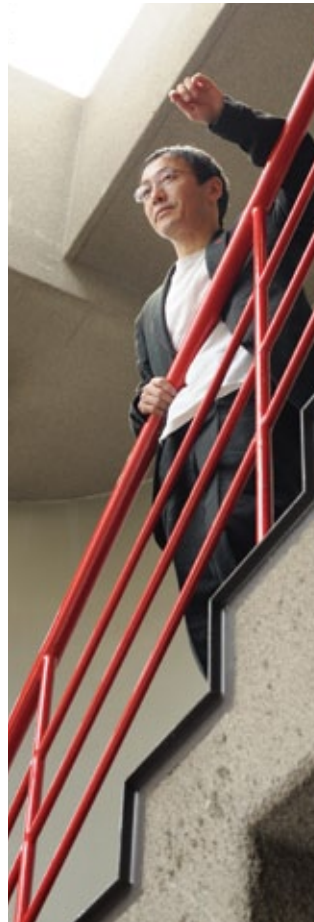


ART NEWS TOKYO 2009.7.9 発行日: 2009年7月1日(季刊) 4.7.10日発行 発行: 財団法人 東京都歴史文化財団 東京都豊田区椎瀬1-4-1 TEL: 03-5610-3503 企画: 財団法人 東京都歴史文化財団 事務局長 藤野 隆夫 編集: 野田 秀樹 撮影: 藤野 隆夫 印刷: 株式会社 印刷 印刷株式会社
AD-1/ 瀬光太郎(株式会社ニエス)・オノ・チカ(チカ)・D 山田伸(株式会社ニエス)・オノ・チカ(チカ) 編集: 野田 秀樹 撮影: 藤野 隆夫 印刷: 印刷 印刷株式会社
© Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture 本誌掲載の記事、写真の無断複写・複製を禁じます。

この夏、野田秀樹が 東京芸術劇場をチェンジする!?

2009年7月、東京芸術劇場の初代芸術監督に就任した
野田秀樹さんに、今後の抱負をうかがいました

文化とは
“人間であること”の証明



今年、2009年7月1日から、東京芸術劇場の芸術監督に就任しました。もちろん、芸術監督という仕事は初めてですし、自分がどれだけできるのかはわかりませんが、今まで「こうした方がいいのにな」と、ひとりで妄想していたことをひとつひとつやっていこうと思っています。

その中で大きな柱になりそうなのが、海外の役者や劇団との交流です。というのは、東京って国際都市と言われてるわりには、日常的に外国と接する機会がありませんよね。ですから、まずは欧米やアジア、アフリカなどの劇団を招へいしたり、僕らが外国の俳優たちと仕事をすると、文化交流の輪が一般に広がっていくといいな、と思っています。

それから、東京芸術劇場のある池袋が“いい芝居を上演する活気ある街”と認識されるようにしていきたい。たとえば下北沢という街は、数十年前にできた「本多劇場」を中心に、活きのいい演劇と若者の街になりました。東京芸術劇場も若い劇団にどんどん出してもらうことで、若い人がより演劇に親しんでくれるような流れができるいいと思います。そのためには、魅力的な“場”をつくることも必要ですね。たとえば、大エスカレーターのある劇場入り口の広い空間で、開演前まで

アーティストがパフォーマンスをしてくれたりするとすごく嬉しい。「今日、時間空いてたから」なんてぶらっと役者さんが現れて、ちょっと朗読してくれたりね。やはり道行く人を演劇の世界に巻き込んでいくようなムードづくりも重要です。

僕は、演劇に限らず文化というのは、“人間であること”の強い証明だと思っています。でも今、マンガの影響かもしれませんが「世の中、お金だよ」という流れに対抗する文化的強度が、とても薄れているような気がするんです。もちろん、僕自身もマンガで育った世代ですし、決してマンガを否定しません。ただ本来、ものを見て考えることはとても複雑なことなのに、考える過程を嫌って結論だけ知りたがる人が多くなってきていると思うんです。自分の体験で言えば、70年代、劇場に来ていた人たちは若い層にも、ものを面白く見て、考えようとする人が多かった。しかし最近、とても短絡的になって演劇もわかりやすい表現が好まれるようになりました。でも、文化とは大人のものでなければならぬ、と僕は思う。幼児化する世の中に流されず、しっかりとした意識をもって文化をグランド・デザインしていくのも、芸術監督となった僕の役割なのかもしれません。



PROFILE

のだ・ひでき 1955年生まれ。日本を代表する劇作家・演出家・役者。東京大学在学中に劇団「夢の遊眠社」を結成。70～80年代の小劇場ブームをけん引した。'93年NODA・MAPを設立。以後、『キル』『THE BEE』『THE DIVER』『バイパー』など、国内外で次々と話題作を発表する。'08年より多摩美術大学で教鞭をとる。'09年7月より東京芸術劇場の初代芸術監督に就任。

東京芸術劇場

東京都豊島区西池袋にある総合芸術文化施設。オーケストラなどコンサート専用の大ホール、演劇ほかさまざまな芸術表現が可能な中ホール、パフォーマンスやミニ・コンサートに適する2つの小ホールを備えている。「今まで東京芸術劇場は、数ある公共ホールのひとつでしたが、そこに芸術監督を置くということは、“貸しホールの性格を変える”という宣言なのだと思います。これからは、客席の組み方や営業時間など、さまざまな面で工夫をしていきたい」と野田さんは語る。

野田秀樹 芸術監督就任記念プログラム

東京芸術劇場の初代芸術監督 野田秀樹が贈る、珠玉の舞台

『ザ・ダイバー 日本バージョン』

8月20日(木) — 9月20日(日)

現代に生きる女性の苦悩を、能曲『海人』や『源氏物語』の登場人物に重ね合わせて描いた、野田秀樹の『ザ・ダイバー』。死刑制度や精神分析といったテーマが重層的に展開するこの作品は、昨年、キャサリン・ハンターの主演で、ロンドンバージョンが上演されました。今回は、「日本人が演じたらどうなるのか？」という初演当初の各方面の関心に応え、いよいよ日本語のセリフと日本人キャストによる、日本バージョンをお披露目します。古典のさまざまな登場人物に豹変しながら、ヒロイン役を体当たりで演じるのは、大竹しのぶ。イギリス、英語という「他者／異文化」から、日本(語)という「自己／伝統」へ……。すべてを一新した緊張感あふれるサイコ・サスペンスが、新たな衝撃とともに展開します。

作・演出	野田秀樹
出演	大竹しのぶ、渡辺いっけい、北村有起哉、野田秀樹
会場	東京芸術劇場 小ホール
料金	6,500円(全席指定)
主催	東京芸術劇場(財団法人東京都歴史文化財団) 東京都／財団法人東京都歴史文化財団
チケット	東京芸術劇場チケットサービス他
取扱	※公演スケジュール等、詳細はホームページをご覧ください。



大竹しのぶ



渡辺いっけい



北村有起哉



野田秀樹

ココが見どころ!



野田秀樹芸術監督の初シーズンは、多彩な作品で幕を開けます。イギリスから初来日する全男性キャストのシェイクスピア劇団、プロペラ。野田作品を原作にした伝説のミュージカル『天翔ける風に』。そして野田秀樹最新作『ザ・ダイバー』(日本バージョン)。強力ラインアップで、皆様をお待ちしています! 東京芸術劇場 事業係 広報・制作担当 橋爪綾子

プロペラ 『ヴェニス商人』 『夏の夜の夢』

7月2日(木) — 7月12日(日)

東京芸術劇場は、今後、世界の最先端の演劇シーンも紹介していきます。その第1弾として野田秀樹が選んだのが、イギリスのシェイクスピア劇団、プロペラです。日本の宝塚をヒントに結成されたというこの劇団は、なんと男性ばかりの演劇集団。今回は、このプロペラが、お金をめぐって悲劇的な喜劇が展開する『ヴェニス商人』と、妖精の世界を舞台にしたロマンティックな恋物語『夏の夜の夢』を上演します。400年の時空を超えて生まれ変わった、オトコたちのシェイクスピアをお楽しみに。

原作：ウィリアム・シェイクスピア 演出：エドワード・ホール 出演：プロペラ 会場：東京芸術劇場 中ホール 料金：S席6,500円、A席4,500円(全席指定)、特別割引チケット65歳以上S席半額、25歳以下A席半額 主催：東京芸術劇場(財団法人東京都歴史文化財団) チケット取扱：東京芸術劇場チケットサービス他
※公演スケジュール等、詳細はホームページをご覧ください。



『夏の夜の夢』

ミュージカル『天翔ける風に』

8月21日(金) — 8月30日(日)

『天翔ける風に』は、野田秀樹作『贖罪・罪と罰』をもとに創作されたミュージカル。幕末、江戸開成所の女塾生・三条英(さんじょう・はなぶさ)が犯した殺人事件をきっかけに、物語は一気に展開していきます。ダイナミックな演出と振り付けは、日本独自の身体性を取り入れた、アジアのオリジナル・ミュージカルを目指す、謝珠栄が行いました。文学、演劇、そしてミュージカルへと進化をとげた『天翔ける風に』は、現代人必見の、究極のハイブリッド・エンターテインメントです。

原作：野田秀樹 演出・振付：謝珠栄 出演：香寿たつき、山崎銀之丞、他 会場：東京芸術劇場 中ホール 料金：S席9,000円、A席6,000円(全席指定)、特別割引チケット65歳以上S席半額、25歳以下A席半額 主催：東京芸術劇場(財団法人東京都歴史文化財団)、東京都／財団法人東京都歴史文化財団 チケット取扱：東京芸術劇場チケットサービス他
※公演スケジュール等、詳細はホームページをご覧ください。



おすすめスポット

日比野克彦アートプロジェクト

「ホーム→アンド←アウェー」方式 [But-a-I] 7月1日(水) — 9月6日(日)

この夏、東京芸術劇場のアトリウム前広場に巨大なヒノキ舞台[But-a-I]が出現します。アーティスト日比野克彦と野田秀樹が金沢21世紀美術館でコラボレーションし、演者と観客、アートと演劇など異なる領域を往還させる仕掛けとして生み出された当作品は、2000本以上のヒノキの間伐材を組み上げた巨大な舞台装置です。[But-a-I]では、各種アートイベントも行われます。



日比野克彦アートプロジェクト「ホーム→アンド←アウェー」方式 尾鷲ヒノキ舞台プロジェクト [But-a-I] (2008-2009年) 三重県立根野吉道センター



清川あさみ《Complex-voice》(2007年) 写真、刺繍糸 Photo:タケミアートフォトス

Stitch by Stitch

ステッチ・バイ・ステッチ 針と糸で描くわたし

7月18日(土)ー9月27日(日)

8組のアーティストが生み出した
針と糸による現代美術

地図をプリントした布や紙に自らの足跡を糸でたどる秋山さやか、さまざまなイメージを針と糸で表現する伊藤存、布やビーズなどを使った妖しく美しい作品が知られる村山留里子……。展覧会「Stitch by Stitch」では、「針」と「糸」を媒体に自らの表現活動を行っている8組の作家とその作品を紹介します。アーティストと聞くと、つい画家や彫刻家などをイメージしがちです。しかし今回紹介される作家たちは、時間や記憶を作品に定着させ、自らの内面を表現するために、一針一針、布にステッチをほどこしてきました。従来の手芸とは全く違った、針と糸による現代アート。その驚くべき作品群は、さまざまな表現の可能性や、新鮮な驚きを、あなたにもたらしめてくれることでしょう。現代美術作家による針と糸を使った作品を、かつて個人の生活空間だった東京都庭園美術館でお楽しみください。

入 場 料	一般1,000(800)円、大学生800(640)円、小・中・高生と65歳以上500(400)円。()内は20名以上の団体料金。未就学児童、障害のある方とその付添者1名は無料。第3水曜日は、65歳以上の方は無料。
休 館 日	第2・4水曜日(祝日の場合翌日)、ただし8月12日(水)は開館
主 催	(財)東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、読売新聞東京本社、美術館連絡協議会



伊藤存《おふたりさん》(2008年) 布に刺繍
Photo:KEI OKANO



秋山さやか
《水戸 あるく 2007年7月18日(水)
くもり 時々 はれ
はだ寒い》(写真は部分)
(2007年) ししゅう糸・もめん糸・毛糸・ひも・
針金・ボタン・駄菓子屋のおもちゃなど/紙に
コピープリント Photo: Hideto NAGATSUKA



ココが見どころ!



針と糸といえば、小学校で出た刺繍の宿題は、あまりに大雑把な娘を見かねて母がきれいに仕上げてくださいました。(宿題は自分でやります)そんな個人的な体験を思い出しつたりしながら、作家たちは針を運ぶ際にどんなことを考えているのか、色々想像(妄想?)してみると楽しいと思います。 東京都庭園美術館 学芸員 八巻香澄

おすすめスポット

刺繍カフェ@cafe 茶洒 kanetanaka 事前申込制

東京都庭園美術館のカフェといえば、正門横にある「cafe 茶洒 kanetanaka」。「Stitch by Stitch」の会期中、このおしゃれなカフェで、塗り絵感覚で楽しむ刺繍のワークショップとお茶会をセットにした「刺繍カフェ」が行われます。刺繍が初めてという人も大歓迎! 刺繍をしながら、楽しいひとときを過ごしてみたいいかがでしょう。



日時: ①7月24日(金) ②8月7日(金) ③8月28日(金)
④9月25日(金)、各日(A)16:00-17:30 (B)19:00-20:30 講師: 矢崎順子(刺繍カフェ主宰/artist in 代表) 定員: 各回15名 会費: 3,000円 (材料費・甘味とお茶代含む) 申込バ切: 開催日3週間前まで 対象: 中学生以上
詳細: <http://www.teien-art-museum.ne.jp>



上: 東洲斎写楽《四代目松本幸四郎の加古川本蔵と松本米三郎の小浪》寛政7(1795)年
下: 喜多川歌麿《風流六玉川》大判錦絵6枚続 享和(1801~04年)~文化(1804~18年)初期

日本・ギリシャ修好110周年記念特別展

写楽 幻の肉筆画

ギリシャに眠る日本美術~マノスコレクションより

7月4日(土) — 9月6日(日)

はるかギリシャのゴルフ島より

写楽の肉筆画を大公開

2008年7月、ギリシャのゴルフ島で、1世紀以上も眠っていた写楽の扇面画《四代目松本幸四郎の加古川本蔵と松本米三郎の小浪》が発見されました。江戸の浮世絵師・東洲斎写楽によるこの役者絵は、扇に貼られていたものを、後に鑑賞用にはがして保存された写楽の貴重な肉筆画です。この作品が見つかったのは、ギリシャで唯一東洋美術を専門とする、ギリシャ国立ゴルフ・アジア美術館。1万点以上にもおよぶ同館のアジア美術のコレクションは、19世紀から20世紀にかけて、日本美術の蒐集に没頭した元ギリシャ大使、グレゴリオス・マノスの収集品を核に形成されました。本展では、日本初公開となるこのマノスコレクションを中心に、同館が所蔵する日本美術、約120点を紹介します。写楽をはじめとする浮世絵の名品ほか、探幽や山楽といった狩野派の屏風絵など、知られざる作品が続々登場する、とても興味深い展覧会です。

入 場 料 一般1,300(1,040)円、大学・専門学生1,040(830)円、小・中・高生と65歳以上650(520)円。()内は20名以上の団体料金。未就学児童は無料。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者2名は無料。

会 場 東京都江戸東京博物館 1階展示室

休 館 月曜日(祝日の場合翌日)

主 催 (財)東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、ギリシャ国立ゴルフ・アジア美術館、読売新聞東京本社、WOWOW

企画協力 英国セインズベリー日本藝術研究所

後 援 駐日ギリシャ大使館

協 力 出光文化福祉財団、ルフトハンザドイツ航空会社、ルフトハンザ カーゴAG、他

展覧会公式HP: <http://sharaku.exh.jp>



葛飾北斎《四姓ノ内 源 小鳥丸の一鷹》文政期(1818~29年)



鈴木春重(司馬江漢)《朝顔》明和7(1770)年頃

作品はすべてギリシャ国立ゴルフ・アジア美術館蔵



ココが見どころ!

浮世絵の展覧会と思われるかもしれませんが、狩野派作品が意外と多いのも展覧会の見どころです。とくに狩野山楽の《牧馬図屏風》は、数十頭もの馬の姿が生生きと描かれており、桃山時代の狩野派の力強さ、確かな筆致というものが感じられておすすめです。

東京都江戸東京博物館 学芸員 我妻直美

おすすめスポット

常設展示室 芝居小屋・中村座

江戸東京博物館を訪れたら1度は見ておきたいのが常設展示室。ここでは、実際に渡ることのできる「日本橋」などの大型模型で、かつての江戸や東京を体感することができます。その中でも、ひととき華やかな一角が、提灯や絵看板などで飾られた「中村座」。江戸時代、庶民の最大の娯楽であった芝居小屋の正面部分を、原寸大で復元したコーナーです。





上:ライオン歯磨看板 オオタ・マサオコレクション 左下:オロナミンC(フルトップ式)看板 オオタ・マサオコレクション
右下:オリエンタルカレー看板 オオタ・マサオコレクション

魅惑のキャン・ハリガミ展

6月13日(土)―9月27日(日)

江戸から昭和を彩った
懐かしいキャン・ハリガミが大集合

江戸時代から昭和初期まで、27棟の復元建造物が建ち並ぶ江戸東京たてもの園。現在、当園では「東ゾーン」に貼り紙や看板などを配置して、昭和30年代の下町の風情を再現する『看板プロジェクト』が進行中です。本展では、当時の看板や写真資料を分析し、街を彩るキャン・ハリガミの歴史とその生態に迫ります。たとえば江戸から昭和にいたるキャン・ハリガミに時代や社会の風潮を見ることはもちろん、東京・横浜・京都など、街ごとの個性を考察。著名なコレクターが集めたキャン・ハリガミの名品・珍品も集合します。今は亡き写真家春日昌昭氏による、東京オリンピックの頃の風景写真も並び、看板や広告に埋め尽くされた昭和30年代の東京の姿が見えてきます。レトロなキャン・ハリガミの魅力を、ぜひここで再発見してください。

入 場 料 一般400(320)円、大学生320(250)円、中学生(都外)、高校生と65歳以上200(160)円、小学生以下・中学生(都内)無料。()内は20名以上の団体料金。
障害のある方とその付添者2名は無料。

休 園 月曜日(祝日の場合は翌日)
主 催 東京都 江戸東京たてもの園



花王シャンプー看板
オオタ・マサオコレクション



不二家のミルク看板
オオタ・マサオコレクション



おすすめスポット

花市生花店

下町の風情がひろがる江戸東京たてもの園の「東ゾーン」には、千代田区神田淡路町にあった「花市生花店」が移築されています。2階の窓下に四季の花々をあしらったレリーフをはめるなど、建物の各所に花のモチーフがほどこされたこの家は、建物全体で花屋をあらわす「看板建築」。店内では昭和30年代の花屋の様子を再現しています。



ココが見どころ!

華やかで美しく、時にはユーモラスな看板・貼り紙。豊富な資料とともに、その歴史と実態を紹介いたします。江戸時代から昭和40年代までの味わい深い看板や、街中で撮影された秘蔵の貼り紙たちが、皆様を魅惑のキャン・ハリガミワールドへと誘います。

江戸東京たてもの園 学芸員 浅川範之



ジョルジュ・ビゴー《クロッキー・ジャポネ》(1886年)

ジョルジュ・ビゴー展

— 碧眼の浮世絵師が斬る明治 —

7月11日(土) — 8月23日(日)

日本に滞在したフランス人画家
ビゴーの足跡をたどる初の展覧会

文明開化の時期に来日したフランス人画家、ジョルジュ・ビゴー(1860-1927)。彼は急速に近代化する日本とそこに生きる人々の姿を、率直に描き続けました。日本では風刺画家として活躍したことが知られるビゴーですが、10数年の日本滞在の後、パリに戻った彼は、一体どのような生涯を送ったのでしょうか？ 本展では、ビゴーの日本滞在中はもちろん、帰国後の後半生を、その作品や関連資料約200点でたどります。

入場料: 一般800(640)円、大学生700(560)円、中・高生と65歳以上600(480)円。()内は20名以上の団体料金。小学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。第3水曜日は、65歳以上の方は無料。 **会場:** 東京都写真美術館 2階展示室 **休館:** 月曜日(祝日の場合翌日) **主催:** (財)東京都歴史文化財団 東京都写真美術館、東京新聞



ジョルジュ・ビゴー《釣りの勝負》『トバエ』第2次第1号より 1887年 横浜開港資料館 プルーム・コレクション蔵



ジョルジュ・ビゴー《洋行帰りの夫婦》『日本人の生活』第2次第1号より 1898年

北島敬三 1975-1991

8月29日(土) — 10月18日(日)

白い背景に、白いワイシャツを着た無表情な人物を定点観測した、ポートレート・シリーズで知られる北島敬三。本展では、1970~80年の初期のストリートスナップ作品を中心に構成し、ニューヨーク、ソ連、東欧といった、冷戦時代の人々をカメラでとらえた作品約150点を紹介します。

入場料: 一般500円、大学生400円、中・高生と65歳以上250円。障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。第3水曜日は、65歳以上の方は無料。 **会場:** 東京都写真美術館 2階展示室 **休館:** 月曜日(祝日の場合翌日) **主催:** 東京都 東京都写真美術館、産経新聞社



北島敬三《NEW YORK》より(1981-82年)



ココが見どころ!

ビゴーの全生涯を明らかにする初の展覧会です。本館ならではの試みとして、幕末や明治初期の風俗、磐梯山の噴火、日清戦争などを被写体とする日本の初期写真を併せて紹介することにより、写真史からみたビゴーの魅力と、ビゴーを魅了した日本の姿にも迫ります。

東京都写真美術館 学芸員 三井圭司

おすすめスポット

MUSEUM LIBRARY 4階 図書室

東京都写真美術館の4階には、貴重な写真集はもちろん、雑誌の最新号や美術書を閲覧できる図書室があります。とくに写真資料に関する質問があれば、ぜひカウンターにお声掛けください。2007年からは「美術図書館横断検索」のシステムも完備。写真美術館を含む8つの図書館と博物館の蔵書を一度に検索できるようになりました。





「ふしぎの国のアリス」コンセプト・アート(1951年)©Disney

メアリー・ブレア展

7月18日(土)ー10月4日(日)

ウォルトが信じた
ひとりの女性。

ディズニーのカラー・スタイリストだった女性アーティスト、メアリー・ブレア(1911-1978)を紹介します。1939年、ウォルト・ディズニー社に入社した彼女は、その卓抜した色彩感覚を生かして、『シンデレラ』『ふしぎの国のアリス』『ピーターパン』など、数々の名作を手掛けました。ディズニーランドの人気アトラクション「イツ・ア・スモールワールド」もメアリーのデザインによるものです。そんな彼女の生涯に、約500点の作品で迫ります。

入場料: 一般・大学生1,100(1,000)円、中・高生900(800)円、小学生600(500)円。()内は20名以上の団体料金。小学生未満無料。 **会場:** 東京都現代美術館企画展示室1階、3階 **休館:** 月曜日(ただし7月20日、8月10日、8月17日、9月21日、9月28日は開館)、7月21日(火) **主催:** (財)東京都歴史文化財団 東京都現代美術館、日本テレビ放送網 **展覧会公式HP:** <http://www.ntv.co.jp/mary>



「ふしぎの国のアリス」コンセプト・アート
(1951年)©Disney

伊藤公象 WORKS 1974-2009

8月1日(土)ー10月4日(日)

伝統的な陶芸の世界からスタートし、陶造形による独自の世界を作り上げた伊藤公象。千変万化する土の繊細な表情をすくいあげ、ダイナミックなインスタレーションを生み出す彼の芸術は、国際舞台で高い評価を受けてきました。各時代の代表作を通して、伊藤公象の世界を紹介します。

入場料: 一般1,000(800)円、大学生800(640)円、中・高生と65歳以上500(400)円。()内は20名以上の団体料金。小学生以下無料。障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。第3水曜日は、65歳以上の方は無料。 **会場:** 東京都現代美術館企画展示室地下2階 **休館:** 月曜日(ただし8月10日、8月17日、9月21日、9月28日は開館) **主催:** (財)東京都歴史文化財団 東京都現代美術館、読売新聞東京本社、美術館連絡協議会



伊藤公象《木の肉・土の刃》(1991年)
高松市美術館蔵 撮影:内田芳孝



ココが見どころ!

多彩な作品の中に見られるメアリー・ブレアの色彩感覚と画面構成の巧みに注目です。モダンアートの影響でしょうか、そのグラフィックなデザインは現代の目にも新鮮に映るはず。また、彼女の一生を通して大恐慌から戦後にかけてのアメリカ史、アメリカ美術の一面面に触れて頂ければ幸いです。 東京都現代美術館 学芸員 鎮西芳美

おすすめスポット

マイケル・リン×BISAZZA(ビザッツァ)の化粧室

東京都現代美術館では、トイレでもアートが楽しめます。その美しい壁面をデザインしたのは、台湾の伝統的な図柄をモチーフにすることで知られるマイケル・リン。タイルはイタリアの高級モザイクタイルブランド「BISAZZA(ビザッツァ)」の協力によるものです。アートなトイレは、1階のミュージアムショップ奥で、お楽しみください。





《イビの石製人型棺の蓋》(部分)末期王朝時代、第26王朝、プサメティク1世治世(前664～前610年頃)
変成硬砂岩 テーベ西岸、アサシーフ地区出土 W:197cm、H:24cm、D:62cm
トリノ・エジプト博物館蔵 西川よしえ撮影

トリノ・エジプト展

—イタリアが愛した美の遺産—

8月1日(土)—10月4日(日)

イタリアが誇る
古代エジプト美術の名品が初来日

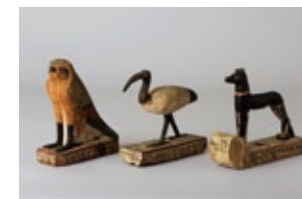
ルーヴル美術館やメトロポリタン美術館と並び、世界屈指のエジプトコレクションを誇るトリノ・エジプト博物館。古代エジプトを専門とする博物館としては、エジプトにあるカイロ博物館を除き、トリノ・エジプト博物館は数少ない大規模コレクションを誇る館です。3万数千点ものコレクションは、ナポレオンのエジプト遠征に従軍し、後にアレクサンドリア総領事となったドロヴェッティの収集品を中心に形成されました。このトリノ・エジプト博物館の所蔵品から、大型彫像やミイラ、彩色木棺、石碑、パピルス、アクセサリーなど目玉作品約130点を紹介します。今回とくに楽しみなのは、アカデミー賞を2度も受賞した美術監督、ダンテ・フェレッティがプロデュースしたトリノ・エジプト博物館の展示方法を取り入れることです。古代エジプトの素晴らしい遺産を、よりドラマティックな空間とともにご堪能ください。

入 場 料 一般1,500(1,200)円、大学生1,200(900)円、高校生700(500)円、65歳以上800(600)円。()内は20名以上の団体料金。中学生以下は無料。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。

会 場 東京都美術館企画展示室
休 館 月曜日(ただし9月21日は開館)
主 催 (財)東京都歴史文化財団 東京都美術館、朝日新聞社、東映、フジテレビジョン
展覧会公式HP: <http://www.torino-egypt.com>



《オシリス神をかたどった王の巨像頭部》新王国第18王朝時代、トトメス1世治世(前1504～前1492年頃)と推定 砂岩、彩色 カルナク出土 H:144cm トリノ・エジプト博物館蔵 西川よしえ撮影



《ハヤブサ、イビス、ジャッカルの小像》プトレマイオス朝時代後期(前2～前1世紀) 木、彩色出土地不明 [ハヤブサ] W8×H26.5×D22cm [イビス] W8×H23.5×D24cm [ジャッカル] W7×H24.3×D29.4cm トリノ・エジプト博物館蔵 西川よしえ撮影



ココが見どころ!

イタリアのトリノ・エジプト博物館は、大英博物館やルーヴル美術館などに匹敵する、古代エジプトの重要な作品を所蔵しています。そのコレクションの歴史は17世紀に始まり、日本初公開となる本展では、ミイラを含む新たなすばらしい所蔵品に出会えることでしょう。

東京都美術館 学芸員 乙葉哲

おすすめスポット

ミュージアムショップ

ミュージアムショップをのぞくことは、美術館を訪れる大きな楽しみのひとつでしょう。もちろん東京都美術館のショップでも、タオルハンカチやTシャツなどのオリジナルグッズや、企画展の関連商品を数多く販売しています。美術館ならではのアートグッズや季節にちなんだ商品もあるので、お土産やプレゼントにもおすすめです。

TEL:03-5814-1032 HP:<http://www.bijutsu.biz/tobikan>





夏@東京文化会館 音楽三昧の10日間

クラシック音楽の殿堂

東京文化会館が贈る夏休みのコンサート・シリーズ

夏休み子ども音楽会2009 《上野の森文化探検》

8月22日(土) 開演:13:00(開場12:15)、16:00(開場15:15)

感受性豊かな子どもたちに、クラシック音楽を広く紹介し、親しんでもらうための約1時間のオーケストラ・コンサート。指揮者の大友直人が、楽しいお話を交えながら、東京都交響楽団とともに本格的なクラシック音楽の世界をお贈りします。チケット購入者には、上野地域の動物園、美術館、博物館等9施設の特典パスポートが付き、上野の森を1日楽しめます。

出演:指揮とお話/大友直人、管弦楽/東京都交響楽団 曲目:レスピーギ/「ローマの松」より「アッピア街道の松」他 会場:東京文化会館 大ホール 料金:(参加施設常設展無料入場・企画展等割引を含む)小中学生1,000円(全席共通)、大人S席3,000円、A席2,000円、B席1,000円 主催:東京文化会館(財団法人東京都歴史文化財団)、上野地区観光まちづくり推進会議



夏休み子ども音楽会
大友直人©kaburagi-amanagroup

夏の音楽浴

8月23日(日) シエナ・ウインド・クラシックス

[シエナ・サクソ] (サクソ四重奏) 開演:11:00
[シエナ・クラツ] (クラリネットアンサンブル) 開演:14:00
[シエナ・プラス5] (金管五重奏) 開演:17:00

料金:全席指定1回券1,500円(高校生以下1,200円)、3回通し券4,000円(高校生以下3,500円)
会場:東京文化会館 小ホール 主催:東京文化会館(財団法人東京都歴史文化財団)

8月24日(月) 小川典子 ドビュッシーの日

[象徴派として] 開演:13:00 / [東洋への憧れ] 開演:16:00
[幾何学模様] 開演:19:00 ピアノ/小川典子

料金:全席指定1回券2,000円(高校生以下1,500円)、3回通し券5,000円(高校生以下4,000円)
会場:東京文化会館 小ホール 主催:東京文化会館(財団法人東京都歴史文化財団)

60分弱のミニコンサートが1日3回! 8月23日は、人気のプロ吹奏楽団「シエナ・ウインド・オーケストラ」から、サクソ、クラリネット、金管五重奏の3つのアンサンブルが競演。吹奏楽ファンならずとも垂涎の1日です。8月24日は、ドビュッシーの音楽を自らのライフワークとするピアニスト・小川典子による音楽でドビュッシーの生涯をたどる特別プログラム。夏休みでなければ体験できない、音楽を心と体に浴びる2日間です。



夏の音楽浴 小川典子
©MilenaMihalova



ココが見どころ!

東京文化会館では8月末の10日間、音楽ファンはもちろん、子どもから大人まで楽しめるバラエティ豊かなコンサートをご用意しました。ラスト4日間は東京音楽コンクールの本選で、若手演奏家誕生に立ち会うチャンスも! 上野の森で音楽三昧の夏を満喫して下さい。

東京文化会館 事業企画課長 吉田雅之

夏休みモーニングコンサート

8月25日(火) 開演:11:00(開場10:30)【弦楽器の魅力】

曲目:ベートーヴェン/2つのオブリガート眼鏡付きの二重奏曲 変ホ長調 WoO.32 他
出演:ヴァイオリン/江口有香、ヴィオラ/小熊佐絵子、チェロ/上森祥平

8月26日(水) 開演:11:00(開場10:30)【ヴィオラの魅力】

曲目:J.S.バッハ(野平一郎編曲)/シャコンヌ~4つのヴィオラのための 他
出演:ヴィオラ/小熊佐絵子、亀井綾乃、坂口弦太郎、西村真紀

8月27日(木) 開演:11:00(開場10:30)【アンサンブルの魅力】

曲目:モーツァルト/ピアノ、クラリネットとヴィオラのための三重奏曲 他
出演:クラリネット/ブレイク・ウェストン、ヴィオラ/小熊佐絵子、ピアノ/坂野伊都子

午前中のひととき、気軽に音楽に親しんでみませんか? 8月25日より3日間にわたって行われる「夏休みモーニングコンサート」は、たった500円で楽しめる朝の1時間コンサート。今回は、オランダの名門・ロイヤルコンサートヘボウ管弦楽団のヴィオラ副首席奏者・小熊佐絵子(2006年の「第4回東京音楽コンクール」弦楽部門第1位)を中心とする若手音楽家が、弦楽器やアンサンブルの魅力をお伝えします。バッハ、モーツァルト、ベートーヴェンなど、有名作曲家の曲が盛りだくさん。肩の凝らない演奏会ですので、ぜひご家族でお楽しみください。

会場:東京文化会館 小ホール 料金:全席自由1回券500円 主催:東京文化会館(財団法人東京都歴史文化財団)



夏休みモーニングコンサート
小熊佐絵子(ヴィオラ)

第7回東京音楽コンクール 本選(公開審査)及び表彰式

8月28日(金) 木管部門 / 8月29日(土) ピアノ部門
8月30日(日) 声楽部門 / 8月31日(月) 弦楽部門

東京文化会館は、可能性に富んだ新人音楽家を発掘し、育成・支援を行うことを目的に毎年「東京音楽コンクール」を行っています。国内外の若い音楽家が力を競うこのコンクールは、第2次予選と本選が公開審査。本選まで勝ち進んだ参加者には、オーケストラをバックに演奏する栄誉が与えられます。また、一般聴衆の投票による「聴衆賞」も設けられた本選では、観客のひとりひとりが審査員。日本の音楽界を背負う未来の巨匠の誕生に、あなたも立ち会えるかもしれません。

開演:18:00(開場17:30) 会場:東京文化会館 大ホール 料金:各部門2,000円(全席自由) 主催:東京文化会館(財団法人東京都歴史文化財団)、読売新聞社、花王株式会社、東京都



第6回東京音楽コンクール本選
雷永愛子(ピアノ部門第1位)

おすすめスポット

cafe HIBIKI

東京文化会館の野外テラスに新しくオープンした「cafe HIBIKI」は、軽食やスープなどが楽しめる、セルフスタイルのカフェ。国立西洋美術館側の通りから入ると、奥のエントランスには室内席もあり、大ホールの雰囲気も楽しめます。東京文化会館でのコンサートの前後はもちろん、上野にいらした際には、どなたでも気軽にご利用いただけます。

営業時間:11:00~19:00 ※ホール公演日より営業日・営業時間が異なります。TEL:03-3821-9151





大巻伸嗣《KISEKIの庭》(2007年) ミクストメディア 会場：広州美術館／広州、中国 (写真提供：東京画郎+BTAP)

「環境展」(仮題)

8月1日(土) — 11月8日(日)

環境問題をテーマに
リサーチや対話から生まれた哲学を提言する展覧会

現在、注目されている若手アーティスト・大巻伸嗣は、2007年以来、「ゴミとは何か?」という問いをきっかけに、アートプロジェクトを展開しています。2008年には東京都の廃棄物埋立処分場を、今年2009年の冬には大森貝塚を訪れ、その報告会を開催しました。今回は、大巻ほか数名のアーティストが行ってきたリサーチをもとに展覧会を行います。アーティストがさまざまな人との対話を通して生み出す新作に、どうぞご期待ください。

入場料：無料 会場：トーキョーワンダーサイト渋谷 休館：月曜日(祝日の場合翌日)
主催：(財)東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト



東京都廃棄物埋立処理場見学の様子

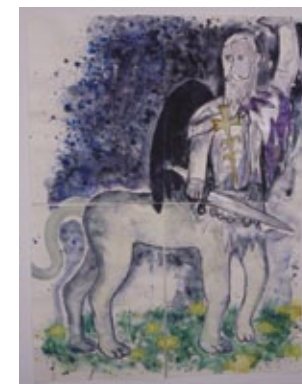
TEAM15 MIHOKANNO

「Hello! MIHOKANNO」

5月30日(土) — 7月20日(月)

実力派の若手アーティストを紹介する、トーキョーワンダーサイトのシリーズ展「TEAM」では、アーティスト・コレクティブ「MIHOKANNO」が登場します。千葉正也、松原壮志朗ら8人のアーティストとデザイナー清田亮平の計9名による、今後、国際舞台での活躍が望まれる作家たちの展覧会です。トーキョーワンダーサイト青山のスタジオにて制作した新作によるインスタレーションを中心に、9名が協働して未知の空間を作り上げます。

入場料：無料 会場：トーキョーワンダーサイト渋谷 休館：月曜日(祝日の場合翌日)
主催：(財)東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト



松原壮志朗《無題》(2008年)



ココが見どころ!

本プロジェクトは、トーキョーワンダーサイトが2007年より取り組んできた「環境」をテーマにした企画の集大成です。世界中で様々な取組が提起される今、ゴミという身近な問題を中心に「アートと環境の対話」を行い、環境に対する意識を顕在化させることを試みます。 トーキョーワンダーサイト 事業課事業係 芦部玲奈

おすすめスポット

TRANCEPARENT@カフェ[kurage] 栗林隆

トーキョーワンダーサイト渋谷に併設されたカフェ「kurage」。若手アーティストの作品展示やトークショーも行われるこのカフェでは、昨年より、アーティスト・栗林隆のプロデュースによる、苔と藍を使ったプロジェクト「TRANCEPARENT」を展開しています。デッキ部分に設置された、苔のインスタレーションが涼しげです。

営業時間：10:00~23:30(ラストオーダー23:00) TEL：03-3463-3323



7

アート&カルチャーカレンダー ART & CULTURE CALENDAR

○下記は主な企画展と関連イベント、主催公演を中心としたスケジュール表です。企画展以外に、常設展示室、映像ライブラリー、図書室を利用できる館もあります。○掲載した情報は2009年6月現在の情報です。やむを得ない事情などで開催予定などが変更になることがあります。○掲載情報以外の催事、入場料、その他詳細については、各館のホームページでもご案内しています。

JULY		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
東京都庭園美術館 TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM		エカテリーナ2世の 四大ディナーセット 4月16日(木)~7月5日(日)					7月6日(月)~17日(金)は美術館のみ							Stitch by Stitch ステッチ・バイ・ステッチ 針と糸で描くわたし ●ギャラリートーク 20日(月)16:00~ ●ふらりとワーク 20日(月)13:00~17:30							7月18日(土)~9月27日(日) ●ギャラリートーク 27日(月)16:00~											
東京都江戸東京博物館 TOKYO METROPOLITAN EDO-TOKYO MUSEUM	特別展	日本・ギリシャ修好110周年記念 特別展「写楽 幻の肉筆画」ギリシャに眠る日本美術~マノスコレクションより 7月4日(土)~9月6日(日)																														
	企画展	発掘された日本列島2009 6月20日(土)~8月2日(日)																														
江戸東京たてもの園 EDO-TOKYO OPEN AIR ARCHITECTURAL MUSEUM	展示室	魅惑のキャンパス・ハリガミ展 6月13日(土)~9月27日(日)																														
	園内	●● 小暑のつどい 4日(土)~5日(日)8:30~ 伝統工芸の実演 4日(土)~5日(日)10:30~															武蔵野えどまる団 25日(土)~26日(日)13:00~ ●● ●ミュージアムトーク 25日(土)14:30~															
東京都写真美術館 TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY	3F 展示室	コレクション展「旅」第1部 東方へ 19世紀写真術の旅 5月16日(土)~7月12日(日)												コレクション展「旅」第2部 異郷へ 写真家たちのセンチメンタル・ジャーニー 7月18日(土)~9月23日(水)																		
	2F 展示室	プレス・カメラマン・ストーリー 5月16日(土)~7月5日(日)												ジョルジュ・ピゴー展 一碧眼の浮世絵師が斬る明治 7月11日(土)~8月23日(日)																		
	B1F 展示室	世界報道写真展2009 6月13日(土)~8月9日(日)																														
東京都現代美術館 MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO	常設展示室																			MOTコレクション 第2期 7月18日(土)~10月4日(日)												
	企画展示室1.3F																			メアリー・ブレア展 7月18日(土)~10月4日(日)												
	企画展示室 B2F																															
東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM	企画展示室	美連協25周年記念 日本の美術館名品展 4月25日(土)~7月5日(日)																														
トーキョーワンダーサイト TOKYO WONDER SITE	本郷1F	Oコレクションによる空想美術館 第7室 6月6日(土)~7月26日(日)																														
	本郷2・3F	TWS-Emerging 119/120/121 村上滋郎、松本菜々、小林達也 7月4日(土)~26日(日)																														
	渋谷	TEAM15 MIHOKANNO 5月30日(土)~7月20日(月)																														
	青山																			●オープンスタジオ 18日(土)14:00~18:00												

東京文化会館 TOKYO BUNKA KAIKAN
主な主催公演 ● 休館日:2日(木)、3日(金)

大ホール
ホワイエ
2日(木)
無料
ティータムコンサート 木管五重奏
開演:13:00(開場12:30)

大ホール
7日(火)
東京文化会館 <響の森> vol.26 中村絃子
ピアノ協奏曲の夕べ 開演:19:00(開場18:20)

小ホール
15日(水)
モーニングコンサートVol.28 山田剛史(ピアノ)
開演:11:00(開場10:30)

小ホール
21日(火)~
22日(水)
第7回東京音楽コンクール第2次予選
開演:10:30(開場10:00)
21日(火)声楽部門/22日(水)ピアノ部門/
8月3日(月)弦楽部門/4日(火)木管部門

東京芸術劇場 TOKYO METROPOLITAN ART SPACE
主な主催公演 ● 休館日:13日(月)、14日(火)

中ホール
2日(木)~
12日(日)
芸術監督就任記念プログラム
プロペラ初来日公演『ヴェニスの商人』『夏の夜の夢』
出演:プロペラ
公演スケジュール等詳細は劇場HPへ

大ホール
25日(土)
東京芸術劇場シアターオペラVol.4
G.プッチーニ 歌劇「トゥーランドット」
開演:15:00 指揮:井上道義 演出:茂山千之丞 管弦楽:
読売日本交響楽団 出演:トゥーランドット姫/マリアナ・
ツヴェトコヴァ、皇帝アルトゥーム/鈴木寛一

アトリウム
前広場
日比野克彦アートプロジェクト「ホーム→アンド←アウェイ」
方式【But-a-I】7月1日(水)~9月6日(日)

東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM
公募展 ● 休館日:18日(土)~26日(日)

文化書道展 墨林綜合書展
東方書展 日本水墨画振興展
日本総合書芸院展 清和ひぐらし書展
国際書法芸術展 平和美術展
公募瑞雲展 青年美術展
二科東京支部展 全日肖像展
全日本水墨画展
毎日書道展
書教展
書星展
台東書道展
全国学生書道展
公募国際墨絵展

●休館日は施設により異なります。
●休館日:月曜日(祝日の場合は翌日)
※東京都庭園美術館は、第2・4水曜日休み。
※東京都現代美術館は、展示替えのため1日(水)~17日(金)は休館。
※東京都美術館は、施設整備の維持管理のため、
18日(土)~26日(日)は休館。

9

アート&カルチャーカレンダー ART & CULTURE CALENDAR

○下記は主な企画展と関連イベント、主催公演を中心としたスケジュール表です。企画展以外に、常設展示室、映像ライブラリー、図書室を利用できる館もあります。○掲載した情報は2009年6月現在の情報です。やむを得ない事情などで開催予定などが変更になることがあります。○掲載情報以外の催事、入場料、その他詳細については、各館のホームページでもご案内しています。

SEPTEMBER		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30									
		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水									
東京都庭園美術館 TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM		Stitch by Stitch ステッチ・バイ・ステッチ 針と糸で描くわたし 7月18日 (土)―9月27日(日)																																						
		●アーティストトーク 5日(土)16:00―17:30 秋山さやか ●ギャラリートーク 14日(月)16:00―										アーティストトーク 27日(日)14:00―15:30 手塚愛子●										●ふらりとワーク 7日(月)13:00―17:30 ●ふらりとワーク(伊藤存も参加) 21日(月)13:00―17:30																		
東京都江戸東京博物館 TOKYO METROPOLITAN EDO-TOKYO MUSEUM	特別展	日本・ギリシャ修好110周年記念 特別展「写楽 幻の肉筆画」															よみがえる浮世絵～うるわしき大正新版画～ 9月19日(土)―11月8日(日)																							
	企画展	江戸東京ねごとくし展 8月13日(木)―9月27日(日)																																						
江戸東京たてもの園 EDO-TOKYO OPEN AIR ARCHITECTURAL MUSEUM	展示室	魅惑のカンバン・ハリガミ展 6月13日(土)―9月27日(日)																																						
	園内											● 伝統工芸の実演 12日(土)―13日(日)10:30-										● 武蔵野えどまる団 19日(土)―20日(日)13:00-										● ミュージアムトーク 26日(土)14:30-								
東京都写真美術館 TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY	3F 展示室	コレクション展「旅」第2部 異郷へ 写真家たちのセンチメンタル・ジャーニー 7月18日(土)―9月23日(水)																																						
	2F 展示室	北島敬三 KITAJIMA KEIZO 1975-1991 8月29日(土)―10月18日(日)																																						
	B1F 展示室	稲越功一写真展 8月20日(木)―10月12日(月)																																						
東京都現代美術館 MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO	常設展示室	MOTコレクション 第2期 7月18日(土)―10月4日(日)																																						
	企画展示室1・3F	メアリー・ブレア展 7月18日(土)―10月4日(日)																																						
	企画展示室 B2F	伊藤公象 WORKS 1974-2009 8月1日(土)―10月4日(日)																																						
東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM	企画展示室	トリノ・エジプト展―イタリアが愛した美の遺産― 8月1日(土)―10月4日(日)																																						
	本郷	NEW DIRECTION 9月5日(土)―27日(日)																																						
トーキョーワンダーサイト TOKYO WONDER SITE	渋谷	環境展(仮題) 8月1日(土)―11月8日(日)																																						
	青山																																							
		●オープンスタジオ 19日(土)14:00―18:00																																						

東京文化会館 TOKYO BUNKA KAIKAN	
主な主催公演 ● 休館日: 28日(月)、29日(火)	
大ホール ホワイエ 2日(水) 無料	ティータイムコンサート 開演: 13:00(開場12:30)
小ホール 4日(金)	レクチャーコンサート 2009-2010シーズン「作曲家の挑戦」シリーズ 第2回「フランス6人組の風」赤坂達三(クラリネット) 開演: 19:00(開場18:30)
小ホール 9日(水)	創遊・楽落らいぶ Vol.9 桂竹丸(落語) 開演: 11:00(開場10:30)
小ホール 25日(金)	モーニングコンサートVol.29 松岡万希(ソプラノ) 開演: 11:00(開場10:30)

東京芸術劇場 TOKYO METROPOLITAN ART SPACE	
主な主催公演 ● 休館日: 7日(月)、8日(火)	
小ホール 8/20(木) -9/20(日)	「ザ・ダイバー 日本バージョン」 出演: 大竹しのぶ、渡辺いっけい、北村有起哉、野田秀樹 公演スケジュール等詳細は劇場HPへ
アトリウム 前広場	日比野克彦アートプロジェクト 「ホーム→アンド→アウェイ」方式 [But-a-l] 7月1日(水)―9月6日(日)
大ホール 17日(木) 無料	ランチタイム・パイプオルガンコンサート Vol.81 ヴォルフガング・クレーパー (オルガン) 開演: 12:15 (開場11:45)

東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM	
公募展 ● 休館日: 28日(月)	
院展 主体展 双樹展 産経国際書展 一水会展 美術の祭典東京展 青枢展 新槐樹社秋季展選抜/公募 秋の独立選抜書展・全国高校生大作書道展 極美展 NAU21世紀美術連立展	

●休館日は施設により異なります。
●休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)
※東京都庭園美術館は、第2・4水曜日休み。
ただし23日(水)は祝日のため開館し、24日(木)に休館。
※東京都江戸東京博物館は、14日(月)、21日(月)は開館。
※江戸東京たてもの園は、21日(月)は開館。
ただし24日(木)は休館。
※東京都写真美術館は、21日(月)は開館。
※東京都現代美術館は、21日(月)、28日(月)は開館。
※東京都美術館は、28日(月)。
企画展示室は、月曜日休室。ただし21日(月)は開室。

東京文化発信プロジェクト



TOKYO CULTURE CREATION PROJECT

東京文化発信プロジェクトとは、東京ならではの芸術文化の創造・発信、芸術文化を通じた子供たちの育成を目的として、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体、アートNPO等と協力して実施しているプロジェクトです。ホールや美術館等で開催する演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野の文化イベントやフェスティバル、まちなかで市民とアーティストが協働するアートプログラムや東京のこれからを担う文化コーディネーターの育成事業、子供向けの体験型プログラムなど、様々な事業を展開しています。

パフォーマンスキッズ・トーキョー

7月25日(土)第一生命ホール 発表公演 **アーティスト**: 港大尋(作曲家)、他
8月21日(金)吉祥寺シアター 発表公演 **アーティスト**: 福留麻里(振付家)



東京文化発信プロジェクトは、東京から様々な芸術文化を発信することはもちろん、芸術文化を通じた子どもたちの育成にも力を入れています。「パフォーマンスキッズ・トーキョー」は、子どもたちが舞台を創作するプログラム。学校やホールに派遣されたダンスや演劇のアーティストとワークショップを行う中で、子どもたちが自らの手で舞台を作りあげます。ふだん接することのない舞台の専門家や、仲間たちとの共同作業を通して、子どもの自主性や創造性、協調性を高めていくプロジェクトを見に来ませんか。

入場料: 無料 **主催**: 東京文化発信プロジェクト室(財団法人東京都歴史文化財団)、特定非営利活動法人芸術家と子どもたち
※観覧は事前予約制を予定。詳細はホームページをご覧ください。

東京発・伝統WA感動

8月28日(金) — 30日(日)「感動体験・日本の音!」<邦楽> **会場**: 東京芸術劇場小ホール
9月19日(土)「東都八景四季賑」<舞踊> **会場**: 国立劇場大劇場
9月22日(火)「大江戸寄席」<落語> **会場**: 有楽町朝日ホール
10月1日(木)「東都の秋 月を奏でる」<コンサート> **会場**: 東京芸術劇場大ホール
11月21日(土)「東京・江戸の賑わい」<民俗芸能> **会場**: 国立劇場小劇場



伝統芸能の第一線で活躍中の方々を招いて各所で公演を行う「東京発・伝統WA感動」を開催します。昨今、さまざまなシーンで「和」のテイストが流行っていますが、邦楽や落語、民俗芸能など、本格的な伝統芸能に触れたことのある人は、かなり少ないのではないのでしょうか。日本の伝統芸能がわかりやすく楽しめるので、ぜひお気軽にご参加ください。

入場料: 有料 **主催**: 東京文化発信プロジェクト室(財団法人東京都歴史文化財団)、東京発・伝統WA感動実行委員会
公式HP: <http://dento-wa.jp> ※プログラム内容は、変更になる場合があります。詳細は公式ホームページをご覧ください。



新プロジェクトが始動!

東京のまちなかを舞台とした、市民参加型のアート・プロジェクトを開始します。都内のさまざまな地域資源や、廃校、川などを活用した展開を予定しています。また、トークイベントや、まちなかのプロジェクトを担う人材育成プログラムも行う予定です。 <http://www.bh-project.jp/artpoint>
東京文化発信プロジェクト室 地域文化交流推進担当課長 森司

<http://www.bh-project.jp>
TEL: 03-5638-8800(東京文化発信プロジェクト室)

ミュージック&リズム TOKYO KIDS

ワークショップ: 9月26日(土) — 10月25日(日)

会場: 高尾わくわくビレッジまたは田園調布せせらぎ公園

リハーサル: 10月31日(土)

会場: 都庁前 都民広場

コンサート: 11月1日(日)

会場: 都庁前 都民広場



鬼太鼓座、バンブーオーケストラなど世界で活躍する演奏家たちの指導のもと、自然の中で、竹を使った楽器を自分で作り、音楽を創り出すワークショップを開催します。最後には、和太鼓や民族音楽のプロの演奏家も加わり都庁前都民広場でコンサートをを行います。自然を感じながら音を生み、リズムを刻む喜びを一緒に体験してみませんか。

料金: 3,000円 **対象**: 小学~中学生 480人 **主催**: 東京文化発信プロジェクト室(財団法人東京都歴史文化財団)、ミュージック&リズム TOKYO KIDS実行委員会 **問合せ**: ミュージック&リズム TOKYO KIDS実行委員会 **TEL**: 03-3353-9927
※参加申込についての詳細はホームページをご覧ください。

東京都歴史文化財団からのお知らせ

●(財)東京都歴史文化財団をご支援いただいている皆様(2009年6月現在)

- 株式会社 伊勢丹
- 有限会社 東京エイドセンター
- 株式会社 はとバス
- シャネル 株式会社
- 財団法人 東京都道路整備保全公社
- 株式会社 エージーエー
- 株式会社 東京ビッグサイト
- 東京都職員信用組合
- 他4団体

*支援金は、当財団が自主的に実施するさまざまな文化事業に役立てております。*ご支援いただいた方には、さまざまなサービスを提供いたします。*随時ご支援(1口50,000円)を受け付けております。個人・法人を問いません。*匿名希望の方のお名前は掲載しておりません。 <http://www.rekibun.or.jp/support>

●パートナーシップにご入会いただいている学校(2009年6月現在)

- 跡見学園女子大学 マネジメント学部
- 花田学園
- 国際基督教大学
- 武蔵野美術大学
- 首都大学東京
- メイ・ウシヤマ学園
- 昭和女子大学
- ハリウッド大学院大学
- 大正大学
- ハリウッドビューティー専門学校
- 東京造形大学
- 立教大学
- 東京ビューティーアート専門学校
- 立正大学

*ご入会いただいた学校の学生は、当財団所管の美術館・博物館の常設展に無料で入場できます。また、事前のお申し込みとお打ち合わせによって、教育活動の連携、コンサートや演劇の割引、常設展ガイドツアーの参加、学芸員資格取得のための実習生受け入れ(1校1名)など、さまざまなサービスを提供いたします。(詳細についてはご相談の上、決定いたします) <http://www.rekibun.or.jp/promotion/partnner.html>

